allcinema

パリで一緒に（1963）

PARIS - WHEN IT SIZZLES

メディア　映画
ジャンル　コメディ　ロマンス
製作国　アメリカ
色彩　Color
時間　110分
初公開日　1964/05/30
公開情報　ＰＡＲ
リバイバル　1972/06［ＣＩＣ］

【キャッチコピー】
永遠の妖精オードリー！世界の恋人ヘプバーン　パリ中のおしゃれと花と香水が　オードリーをつつみます　最高にステキなロマンティック・コメディ

【解説】
　ちょっとひねったシットコム（シチュエーション・コメディ）が得意な監督クワインと脚本のアクセルロッドの共同製作で、デュヴィヴィエの「アンリエットの巴里祭」を翻案したものの映画化。二人の映画脚本家が共作するシナリオ通りに物語が進行していくという奇抜な構成で、オードリーは二役を、ホールデンは三役を楽しげにこなしている。脚本家ベンスン（ホールデン）が臨時秘書のガブリエル（ヘプバーン）にタイプさせたシナリオは、無名の新人俳優フィリップ（ホールデン二役）が娘ギャビーに恋をしており、パリ祭でのデートの約束をするが、急な撮影の仕事でそれをすっぽかすという内容。ここまで読んだプロデューサーの“つまらない、書き換えろ”の指示に彼は応じず、脚本は棚上げに。別のライターの手が入り（それも清書するのはガブリエルの仕事）、国際警察に追われているリック（ホールデン三役）という男が新たにギャビーの前に現われ、物語はロマンスから犯罪サスペンスへと変わってしまう……。そうこうするうちにベンスンとガブリエルの恋も進展していくのは言わずもがなで、挿話が少し鈍重でいかにもこなれていないのに（オードリーの美しさに免じて）目を瞑れば、まずまず楽しめる内容だ。

【クレジット】

監督	リチャード・クワイン	Richard Quine	
製作	リチャード・クワイン	Richard Quine	
	ジョージ・アクセルロッド	George Axelrod	
原作	ジュリアン・デュヴィヴィエ	Julien Duvivier	
	アンリ・ジャンソン	Henri Jeanson	
脚本	ジョージ・アクセルロッド	George Axelrod	
撮影	チャールズ・ラング	Charles Lang	
編集	アーチー・マーシェク	Archie Marshek	
音楽	ネルソン・リドル	Nelson Riddle	
出演	ウィリアム・ホールデン	William Holden	リチャード・ベンソン（リック）
	オードリー・ヘプバーン	Audrey Hepburn	ガブリエル・シンプソン（ギャビー）
	ノエル・カワード	Noel Coward	アレクサンダー・マイヤハイム
	グレゴワール・アスラン	Gregoire Aslan	ジレー警部

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.

レイモン・ビュシェール	Raymond Bussieres フランソワ	
トニー・カーティス	Tony Curtis	（クレジットなし）
マレーネ・ディートリッヒ	Marlene Dietrich	（クレジットなし）
メル・ファーラー	Mel Ferrer	（クレジットなし）
アンリ・ガルサン	Henri Garcin	（クレジットなし）

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.